



## 「抗酸化物質を用いた骨増生法開発研究」

歯科の臨床において、骨量の不足が治療を難しく、予後を不良にすると思われる状態に多く直面し、骨増生が必要になることがあります。現在、さまざまな骨増生法が臨床応用されていますが、特に細胞移植を伴う骨増生では移植に伴う炎症による酸化ストレスや組織への血液の再灌流による酸化ストレスによって、アポトーシスや機能不全に陥ってしまうと言われています。

本研究は抗酸化力を持った薬剤の応用により、移植細胞にかかる酸化ストレスを軽減し、予知性の高い細胞移植を伴う骨増生法を開発しようとするものです。

